

# 葉面散布の注意点と具体的使用方法の提案〔ぶどう・特産果樹〕

1. 作物は、根からでなく、葉からも養分を吸収することができる。葉から直接養分が吸収されるので、速効性がある。

しかし、根からの吸収量に比べて少なく、あくまで補助的な手段になる。

2. 下記のような条件等において、葉面散布の効果が期待(有効)できます。

①天候不順(日照不足・異常高温低温等)があり、根の養分吸収機能が低下している。

②土壌に施用しても、不可吸態になり、植物に吸収されにくい。 ③着果過多による同化養分の補給が追い付かない。

④微量要素欠乏による生理障害が予想されたり、初期症状が発生した。

⑤養分不足を急速に回復したい。 ⑥作物の品質向上を図る。

3. 注意点

①葉面散布における最適な温度は、15～25℃程度。5℃以下では、吸収が大幅に減少し、

30℃を超えると葉焼け症状の発生が多くなるため、使用を控える。また、範囲内であっても、希釈倍率を薄めて、使用する事が望ましい。

②幼木や若い柔らかい葉ほど、薬害を生じやすい。

4. 具体的使用方法の提案 ※あくまで、使用例です。表面と使用方法が異なる場合があります。

※複数ある資材は、選択して使用下さい。

□で囲われた商品  
が、特におススメで

〔ぶどう〕

薬剤防除 時期 (散布時期 目安)	水上がり前	(4月中旬～5月)	第3回展葉2～3枚期 ～ 第7回落花直後	袋がけ後～
凍霜害 対策		単用散布 霜ガード:50倍 又は アイスバリア250倍		
品質向上 花芽充実 生理障害 対策	発芽促進・芽揃い  メリット青:2倍		防除に混用散布 または単用散布  ケルパック66:3,000-1,000 倍 又は オルガミン:1,000-2,000倍	単用散布  モーニングシャイン: 1,000-500倍 又は オルガミン:1,000-2,000倍 + グリーントップ70:500倍 又は リーフマグ:1,000倍

〔特産果樹〕

薬剤防除 時期 (散布時期 目安)	開花時期～落花後頃	生育期間中		
凍霜害 対策	単用散布 霜ガード:50倍 又は アイスバリア250倍			
品質向上 花芽充実 生理障害 対策	防除に混用散布 または単用散布  アミノメリット青:500倍	防除に混用散布 または単用散布  ケルパック66:1,000-2,000 倍 又は 友果:500-1,000倍 又は オルガミン:1,000-2,000倍		